

講義録レポート

講義録コード

03-23-5-02-[1] - [0] [3]

講 座	税 理 士	科目	財務諸表論
目標年	2023年合格目標	テキスト	No. (1)
コース	完全合格＋上級	回 数	第 (3) 回
用 途	ビデオブース WEB通信 ・ DVD通信 ・ 資料通信 ・ Web フォロー ・ 音声DL フォロー		

収録日	2022 年 5 月 11 日		
講師名	渡辺 俊宏 先生	板 書	3 枚 ※レポート含まず
		その他	8 枚 (名称／該当教材) 補助レジュメ
			(名称／該当教材)

授業構成	講義	⇒	講義	⇒	講義
	現金預金・長期預金		銀行勘定調整・当座借越		金銭債権・関係会社
実施 テスト	【 ● 】ミニテスト	テキストNo.(1)第(3)回			テストでの正誤
	【 】実力テスト				【 】あり 【 ● 】なし
	【 】その他 ()				【 】問題
	【 】なし				【 】解答用紙
	実施時間 (10) 分				【 】解答解説
使用教材	【 ● 】基本テキスト	No.(1)	該当ページはテキスト内の コントロールタワーをご覧ください		
	【 ● 】トレーニング	No.(1)	【 】理論テキスト		
	【 】ポイントチェック		【 】その他()		
配布教材	【 】基本テキスト	No.()	【 】ポイントチェック		
	【 】トレーニング	No.()	【 】理論テキスト		
	【 】トレーニングシート	No.()			
	【 】テスト帳合レジュメ	《講義録添付なし》 ()			
	【 】別途配布レジュメ	《講義録添付あり》 ()			
	【 】その他 ()				
備考	* ビデオブースにてご視聴の方へ 正確な講義時間につきましては、DVDケースの背表紙下に記載されていますので適宜ご確認下さい。 (例) ①51 記載の場合、前半講義 51分 (答練・演習の場合は、解説もしくは事前講義 51分を表します)				
	これから頑張っていきましょう。(渡辺)				

財務諸表論【ミニテスト】

完 全 合 格
コ ー ス

問題ーテキストNo.1 第3回	制限時間	10分
-----------------	------	-----

C株式会社の当期（令和4年4月1日から令和5年3月31日）の次に示す資料により、会社計算規則に準拠した貸借対照表及び損益計算書の一部を作成しなさい。

〔資料1〕残高試算表（一部）

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額	
長 期 預 金	25,000	短 期 借 入 金	12,000	
⋮	⋮	⋮	⋮	
期 首 商 品 た な 卸 高	96,000	期 末 商 品 た な 卸 高	196,000	
当 期 商 品 仕 入 高	730,000	売 上 高	1,302,500	-12,500
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	421,500	受 取 利 息	1,800	+63
売 上 値 引	12,500	投 資 不 動 産 賃 貸 料	3,300	-1,650
+50 支 払 利 息	8,200	固 定 資 産 売 却 益	1,500	
固 定 資 産 災 害 損 失	7,500	⋮	⋮	
法人税、住民税及び事業税	96,600			
⋮	⋮			

〔資料2〕参考事項

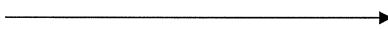
- 1 残高試算表の投資不動産賃貸料3,300千円は、当期首に賃貸を開始した建物に対して受け取ったものである。
契約期間は②年間で賃貸料を全額前受けしている。
投不料 1,650 / 前受収益 1,650
- 2 残高試算表の長期預金25,000千円は、令和4年10月1日に預け入れた定期預金である。利払日は年1回9月末であり、経過利息63千円の処理が未了である。
前受収益 63 / 受利 63
- 3 残高試算表の短期借入金12,000千円は、令和4年11月1日に借り入れたものであり、令和5年10月31日に一括返済するものである。返済時に利息を支払うことになっているが、経過利息50千円の処理が未了である。
支利 50 / 未払費用 50

◆ 今日の学習内容

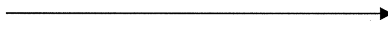
- (1) 現金預金
- (2) 長期預金の判定
- (3) 銀行勘定の調整
- (4) 金銭債権
- (5) 関係会社の判定
- (6) B/S注記

◆ 小切手のまとめ (P62)

(1) ○○○小切手



(2) 先日付小切手



(振出日 =)

(3) 未取付小切手



未取立小切手

◆ 銀行勘定調整のメモ例 (P71)

当 社	
T/B	349,200

B/K	
残高	442,200

◆ 当座借越 (P72)

(1) ケース1：T/Bに「当座借越」なし

① 科目修正：T/B「当座預金」 → 「現金及び預金」

② 修正仕訳：

(2) ケース2：T/Bに「当座借越」あり

① 科目修正：T/B「当座預金」 → 「現金及び預金」

T/B「当座借越」 → 「短期借入金」

【参考】当座借越「ケース1」の問題構造

T/B	
A当座預金	2,000
B当座預金	0

→ B銀行の当座預金から広告宣伝費1,000引き落とし

(仕訳)

広告宣伝費 1,000 / 当座預金 1,000



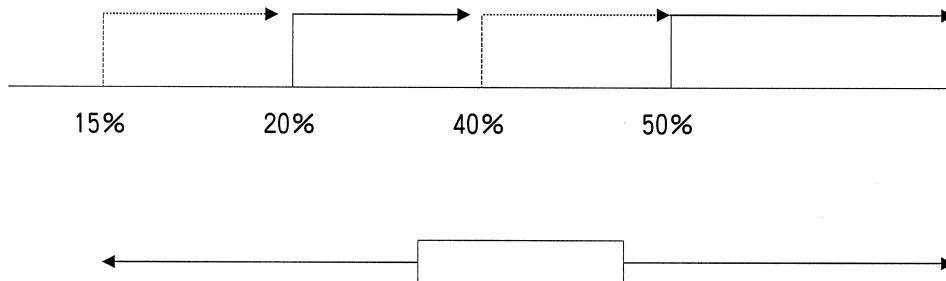
T/B	
A当座預金	2,000
B当座預金	-1,000

問題点：当座借越契約を結んでいるのに預金残高がマイナス

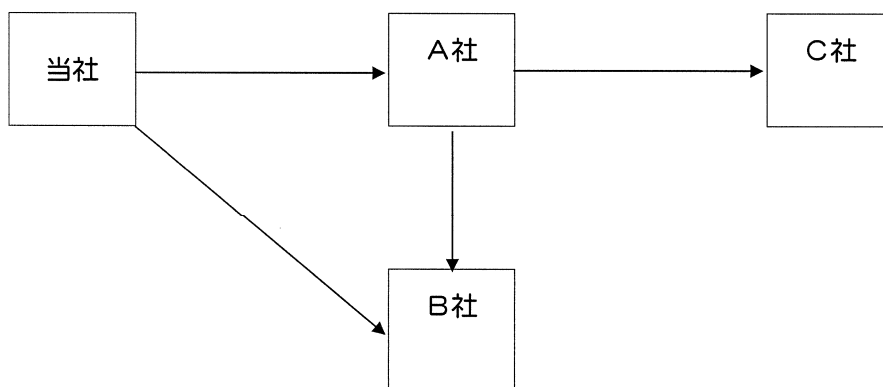


T/B	
当座預金	1,000 ← (A2,000 + B - 1,000)

◆ 関係会社の判定 (P81)



◆ プラス α (P82)



【貸借対照表等に関する注記】

I 覚えなければいけない注記

(1) 担保提供資産（預金を担保に供している場合）(No. 1-P74)

(イ) 長期預金のうち1,000千円を長期借入金1,200千円の担保に供している。

(ロ) 長期預金全額を当座借越契約の担保に供している。

B/Sの表示科目を使用する。(注) 定期預金・積立預金などは×

(2) 取締役・監査役・執行役に対する金銭債権 (No. 1-P99)

取締役に対する金銭債権が1,000千円ある。

(注) 総額で記載するので「金銭債権」を使用

→ 短期・長期に分けない + B/S科目を使用しない。

(3) 保証債務 (No. 1-P163)

A社の金融機関からの借入金に対し、5,000千円の債務保証を行っている。

(注) 発生の可能性が高い＝債務保証損失引当金 → 注記不要

(4) 重要な係争中の事件 (No. 1-P164)

B社から商標権の侵害があったとして、損害賠償請求額80,000千円を受け、現在係争中である。

(注) 発生の可能性が高い＝損害補償損失引当金 → 注記不要

(5) 手形の割引・裏書 (No. 2)

受取手形割引高 5,000千円

(注1) 金額＝額面金額

(注2) 決済日＝翌期以降のみ（決済が済んでいるものはリスクがないので注記不要）

(例題) 事業年度：2022年年4月1日～2023年3月31日

① 当期に受取手形5,000千円（決済日：2023年3月10日）を銀行で4,950千円にて割り引いた。

→ 注記不要（決済が済んでいる＝リスクなし）

② 当期に受取手形5,000千円（決済日：2023年4月10日）を銀行で4,950千円にて割り引いた。

→ 注記必要（未決済＝リスクあり）

Ⅱ 問題文に指示のある注記

(1) 関係会社に対する金銭債権の表示 (No. 1-P87~P88)

貸借対照表		(単位：千円)	
科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部			
I 流動資産			
⋮	まとめて		
受取手形	750		
⋮			
短期貸付金	300		
⋮			
II 固定資産			
⋮			
3 投資その他の資産			
⋮			
長期貸付金	250		
⋮			

① 科目別注記法

関係会社に対する金銭債権は次のとおりである。

受取手形 250千円 短期貸付金 100千円 長期貸付金 50千円

(注) B/Sの表示科目を使用する。貸付金などは×

② 一括注記法

関係会社に対する金銭債権は次のとおりである。

短期金銭債権 350千円 長期金銭債権 50千円

(注) 一括でも短期と長期に分ける。

(2) 貸倒引当金 (No. 1 -P91)

→ B / S 金額 : 回収可能額 = 債権金額 - 貸倒引当金

(単位 : 千円)

(3) 直接控除科目別注記法 (例外)		(4) 直接控除一括注記法 (例外)	
科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部		資産の部	
I 流動資産		I 流動資産	
⋮		⋮	
受 取 手 形	<u>98,000</u>	受 取 手 形	<u>98,000</u>
売 掛 金	<u>78,400</u>	売 掛 金	<u>78,400</u>
⋮		⋮	
短 期 貸 付 金	<u>19,600</u>	短 期 貸 付 金	<u>19,600</u>
⋮		⋮	
II 固定資産		II 固定資産	
⋮		⋮	
3 投資その他の資産		3 投資その他の資産	
⋮		⋮	
長 期 貸 付 金	<u>39,200</u>	長 期 貸 付 金	<u>39,200</u>
⋮		⋮	
金銭債権から貸倒引当金がそれぞれ控除されている。 受 取 手 形 2,000千円 売 掛 金 1,600千円 短期貸付金 400千円 長期貸付金 800千円		金銭債権から貸倒引当金がそれぞれ控除されている。 <u>短期金銭債権</u> 4,000千円 <u>長期金銭債権</u> 800千円	

(注) 一括でも短期と長期に分ける。

(3) 減価償却累計額 (No. 1 -P115~P116)

→ B/S金額：帳簿価額＝取得原価－減価償却累計額

貸 借 対 照 表

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
II 固 定 資 産			
1 有形固定資産	(325,000)		
建 物	<u>80,000</u>		
車 両 運 搬 具	<u>40,000</u>		
器 具 備 品	<u>5,000</u>		
土 地	200,000		

① 科目別注記法

有形固定資産から減価償却累計額がそれぞれ控除されている。

建物 20,000千円 車両運搬具 10,000千円 器具備品 5,000千円

(注) B/Sの表示科目を使用する。

② 一括注記法

有形固定資産から減価償却累計額35,000千円が控除されている。

(注) 合計金額

ページ数
(1) / (3)

税 理 士 講義録	コース 講義等	完全合格+上級	科目	財務諸表論	回数	テキストNo.1 第3回
-----------	------------	---------	----	-------	----	-----------------

配布物	★テスト類： []	講師	渡辺(俊)先生
	★その他の配布物1： []		
	★その他の配布物2： []		

黒 板 内 容

① 小切手のまとめ (P.62)

(1) ○○○小切手 → 現金預金

(2) 先日付小切手 → 受取手形
(振出日 = 翌期以降)(3) 未取付小切手 → 当社の処理なし
未取立小切手

① 設例 P.67 集計例

→ × 6.3.31

33,700		T/B
- 10,000	(現金 3,500	
- 1,200	預金 30,200	
<u>22,500</u>		

※ 積立 : 30回 - 12回 = 18回(残) > 1年超

ページ数 (2) / (3)

税 理 士 講義録	コース・講義等	完全合格+上級	科目	財務諸表論	回数	テキストNo.1 第3回
-----------	---------	---------	----	-------	----	-----------------

配布物	★ テ ス ト 類 : []	講師	渡辺(俊)先生
	★その他の配布物1 : []		
	★その他の配布物2 : []		

黒 板 内 容

⑧ 銀行勘定調整のメモ例(設例 P.69)

当 社		B/k	
T/B	349,200	残高	442,200
(2)	+ 70,000	(1)	+ 68,000
(3)	+ 37,000	(4)	- 56,000
(5)	- 2,000		
	<u>454,200</u>		<u>454,200</u>

⑧ 当座借越(設例 P.73)

(1) ケース1 T/Bに当座借越なし

①科目修正: T/B「当座預金」→「現金預金」

②修正仕訳: 現金預金 1,000 / 短期借入金 (1,000) ← 当座借越分

⑧ 営業外受取手形(P.78)

短期 + 内容 + 受取手形
長期

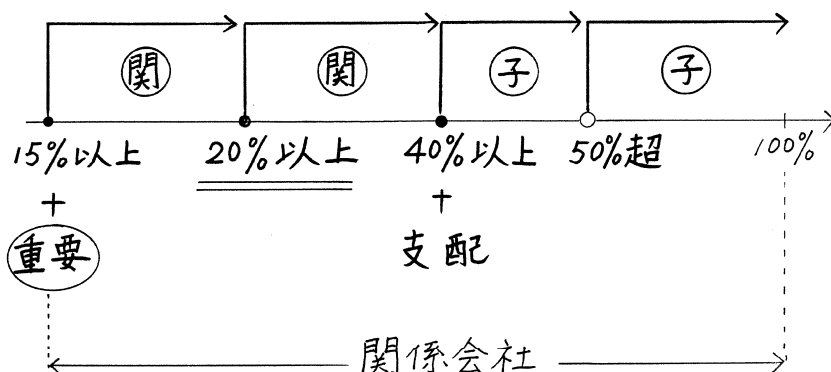
ページ数 (3) / (3)

税 理 士 講義録	完全合格+上級	科目	財務諸表論	回数	テキストNo.1 第3回
-----------	---------	----	-------	----	-----------------

配布物	★ テ ス ト 類 : []	講師	渡辺(俊)先生
	★その他の配布物1 : []		
	★その他の配布物2 : []		

黒 板 内 容

⑧ 関係会社の判定(P81)



⑧ + × (P.82)

